

## 10 学校施設の整備充実について

(文部科学省・財務省)

次代を担う児童・生徒の健全育成は全ての市民の願いであり，教育環境の一層の充実は，本市の最重要施策の一つであります。

京都市では，これまでから学校施設の整備を積極的に推進しており，校舎などの増改築にあたっては，地域の生涯学習への対応や，耐震化の推進などによる防災機能の充実，地球環境への配慮のためのソーラーシステムの設置など，新しい時代に対応した学校施設の整備を進めております。

今後も，引き続き必要な事業について，計画的な実施に努めていくとともに，とりわけ，学校施設の耐震診断・耐震補強及び空調設備設置については着実に計画が進捗可能な財政措置が必要であります。

### 要望事項

- 1 校舎等の新增改築及び大規模改造，特に耐震診断・耐震補強や校内LAN整備における，計画的な事業実施に必要な財政措置
- 2 小・中学校普通教室への冷房設備単独設置に対する財政措置

主な要望先：文部科学省(初等中等教育局財務課，大臣官房文教施設企画部，施設助成課)

本件に関する連絡先：教育委員会事務局 総務部 企画課長 中永健史 TEL 075 - 222 - 3768

<参考>

新しい時代に対応した学校施設の整備状況（平成15年度末現在）

整備内容	整備校数
学校ふれあいサロン （余裕教室を地域開放施設に整備）	145校
学校コミュニティプラザ （生涯学習にも活用できる学校施設の整備）	12ゾーン60校
花と緑のグリーンベルト （ブロック塀等を緑の生垣に整備）	54校
防災スクールウェル(井戸)	31校
太陽光発電システム	25校
学校ビオトープ（生物が生息する水辺等の整備）	4校
屋上緑化	3校